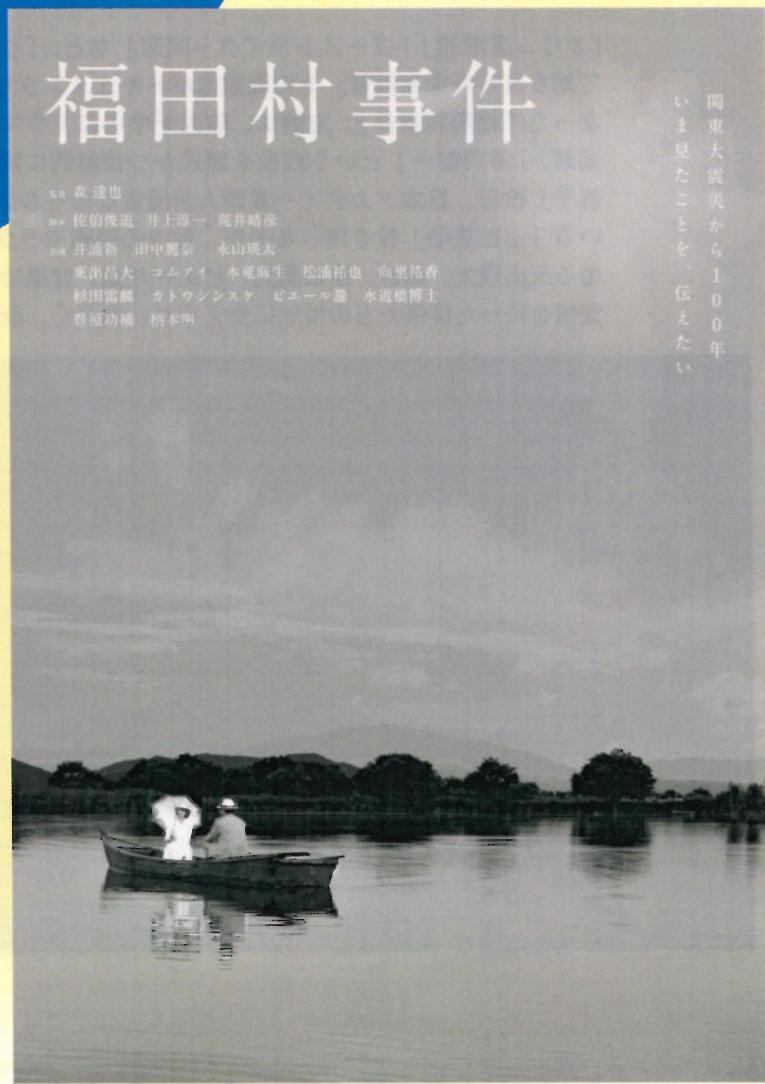


令和5年度 ふれ愛講座・ 人権啓発映画上映会

映画

福田村事件

序説 1923年9月1日11時58分、関東大地震が発生した。そのわずか5日後の9月6日のこと。千葉県東葛飾郡福田村に住む自警団を含む100人以上の村人たちにより、利根川沿いで香川から訪れた薬売りの行商団15人の内、幼児や妊婦を含む9人が殺された。行商団は、讃岐弁で話していたことで朝鮮人と疑われ殺害されたのだ。逮捕されたのは自警団員8人。逮捕者は実刑になったものの、大正天皇の死去に関する恩赦ですぐに釈放された……。これが100年の間、歴史の闇に葬られていた「福田村事件」だ。行き交う情報に惑わされ生存への不安や恐怖に煽られたとき、集団心理は加速し、群衆は暴走する。これは単なる過去の事件では終わらない、今を生きる私たちの物語。



©「福田村事件」プロジェクト 2023

日時

令和5年 **12月17日(日)**

開演: 1回目 13:30 (開場 12:30)

上映時間 137分

2回目 17:45 (開場 17:00)

※字幕あり

ところ

丹鶴ホール
TANKAKU HALL

大ホール

新宮市下本町2丁目2番地の1

**入場無料
(申込不要)**

※満席の場合は、入場をお断りする場合があります。

手話通訳あり

※映画上映時は字幕にて対応



※駐車場内のトラブルや事故等については、一切責任を負いかねます。ご了承ください。

※駐車場には限りがあります。公共交通機関の利用や乗り合わせでのご来場にご協力ください。

主催：新宮市教育委員会・新宮市人権教育推進委員会
新宮市・新宮市スクールソーシャルサポートセンター

※警報発令時には、中止する場合があります。

※この作品はPG12作品です。一部性的な表現や暴力的な描写が含まれています。
そういう表現に対して不快感や不安を感じる方は、ご鑑賞をご遠慮ください。

お問い合わせ

新宮市教育委員会生涯学習課
電話 0735-23-3333
FAX 0735-21-5298
E-MAIL s-gakusyu@city.shingu.lg.jp

関東大震災から100年
いま見たことを、伝えたい

「オウム真理教」「ゴーストライター問題」など、「タブー」に切り込むドキュメンタリー作家として知られる森達也監督。その森監督がドキュメンタリーではなく、初の「劇映画」に挑んだ作品となった「福田村事件」。主演は、映画を中心にドラマ、ナレーションなど、幅広く活躍している井浦新。「澤田智一」という難役を繊細かつ情熱的に演じ、観るもの的心を揺さぶる。その妻「澤田静子」役を、日本アカデミー賞新人俳優賞などを多数受賞している田中麗奈。薬売りの行商団を率いる「沼部新助」役を演じるのが、数々の映画やドラマに出演し、近年では自身でも映画監督を務める永山瑛太。ほか、東出昌大、ピエール瀧、豊原功補、柄本明など豪華名優たちが顔をそろえる。覚悟を持った俳優たちの情熱に支えられ、面白く、鋭く、豊かで、何よりも深い映画となっている。



～広げよう やさしい心と思いやり～

新宮市では、平成27年4月1日に

「新宮市部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃に関する条例」
を制定しています。

一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、市民のみなさんが明るく笑顔で心豊かに暮らせる人権尊重のまち「新宮市」を目指し条例を制定しました。

差別のない新宮市の実現に向けて市民のみなさまのご理解とご協力をお願いします。

人権に関する相談窓口を知っていますか？

みんなの人権110番

全国共通ナビダイヤル
0570-003-110

※最寄りの法務局・地方法務局につながります。
受付日時：平日8：30～17：15

東牟婁郡振興局総務県民課

電話番号

0735-21-9650

受付日時：平日9：00～17：45
(祝日・年末年始は除く)

新宮市役所人権政策課

電話番号

0735-23-3359

受付日時：平日8：30～17：15
(祝日・年末年始は除く)

ひとりで悩まず気軽にご相談ください。（秘密は厳守されます）